

- ☆参議院選挙勝利に向けて
- ☆日婦の会第45回総会開催
- ☆参議院選挙に向け地方協会で集会

第115号 2004年7月1日
 (平成7年3月17日第三種郵便物認可)

編集発行人 田中 慶秋
 〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号
 第5須賀ビル6階
 TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行
 E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp
 購読料 年間 1,000円
 (会員の購読料は会費の中に含む)

参議院選挙勝利に全力を！

— 民主党の大躍進で政権交代の契機に —

第20回参議院選挙は6月24日公示、7月11日投票の日程で始まった。昨年11月の衆議院総選挙で民社協会が支持する民主党は大躍進を果たし、政権交代を射程におさめるところまで来た。

今回の参議院選挙は政権交代に向けて足元を固め、参議院での議席を増加させることで日本政治の安定につなげていくことが民主党の目標である。民主党は50議席を獲得目標としている。

民主党は比例区26名、選挙区46名を公認している（他に推薦5名）。そのうち、民社協会で重点的に支援する候補は比例区5名、選挙区3名で全員の当選に向けて、すでに着々と準備が進められてきた。

ただし、民主党にとって楽観は許されない選挙である。選挙の直前に菅前代表が年金未納問題への対応のまずさの責任をとって辞任、党内一致して後任に推された小沢代表代行も辞退という緊急事態を迎え、岡田幹事長が昇任するかたちで新代表に就任した。

年金問題をめぐる一連の対応の不利が民主党に対する国民の期待を低下させた事実は率直に認めなければならない。そのうえで、国民の年金制度に対する不信を解消し、不安を解決する抜本改革を訴えていく必要がある。

年金問題が選挙の最大争点に浮かび上がってきている。改革の前提となる合計特殊出生率は法案成立直後に2003年の数字が公表され、史上最低を更新する1.29まで落ち込んだ。

民主党は厚生年金と国民年金を統合し、所得比例年金へ一本化する抜本改革案を国会審議のなかでも提案し、選挙公約としても打ち出している。

法案成立直後に政府案の前提が崩れた以上、長期に安定した年金制度とするため、抜本改革に向けた議論をいまから始め、国民が安心できる年金制度としていくことが求められている。

小泉総理は就任して3年が経過したが「構造改革なくして景気回復なし」というスローガンを叫ぶだけで、道路公団民営化問題1つとってみても、なんら具体的な進展はみられない。日本社会には閉塞感がただよい、成長への胎動

はみられない。

今回の参議院選挙は日本が再浮上するための経済・社会の改革を進め、安心できる福祉社会を築いていく一里塚にしなければならない。そのためには、民主党が躍進し、参議院で現在以上の役割を果たすことがどうしても必要である。今回の参議院選挙の勝利は次回衆議院選挙の戦いと政権交代の実現につながる。

民社協会の会員一丸となって、民主党公認候補、民社協会重点候補の参議院選挙勝利に向け、まい進しよう。

民社協会重点候補

比例区			
	氏名	役職等	前・新
	直嶋 正行	前民主党参議院幹事長	前
	小林 正夫	電力総連副会長	新
	津田 やたろう	JAM副会長	新
	柳沢 みつよし	UIゼンセン同盟政治顧問	新
	渡辺 ひでお	元郵政大臣	前
選挙区			
神奈川	浅尾 慶一郎	民主党神奈川県連選挙対策委員長	前
愛知	木俣 佳丈	民主党愛知県連副代表	前
広島	柳田 稔	民主党広島県連代表	前